

児童生徒の状況に応じた支援

登校している

- ・学校に行きしぶる
- ・体調不良を訴える日が多くなる

- ・教室に上がれず保健室や別室にいる時間が増える
- ・遅刻や欠席が多くなる

登校が難しい

- ・学校には行けないが外出はできる
- ・家族以外の人と会える

- ・外出できない
- ・家族以外の人とは会えない

学校の中での支援



「多様な居場所や学びの場の創出」へ向け、魅力ある学校づくり、いじめや暴力行為を許さない安全・安心な学校づくり、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の充実に取り組みます。

お子さんに必要な支援を届けるためには、まずは学校に相談してください。

相談しやすい先生に お話しください

- 担任の先生
- 学年主任の先生
- 部活動の顧問の先生
- 校長先生
- 保健室の先生
- 生徒指導主事の先生
- 事務の先生
- 教頭先生 等々

別室登校

校内の教室以外の部屋で、自分で過ごし方を決めて学習を進めます。
※各学校へ相談ください。

SSR (スペシャルサポートルーム)

県の指定を受けて学校に設置しています。(4ページ参照)



SC (スクールカウンセラー)

全ての学校と「こども応援センター」に配置されています。(児童生徒や保護者のカウンセリングを行います)
※各学校及び「こども応援センター」に相談ください。

SSW (スクールソーシャルワーカー)

不登校、いじめ、虐待など対応が必要な児童生徒を取り巻く環境への働きかけ、関係機関(教育・福祉等)とのネットワークづくり、連携・調整を行います。子どもだけでなく保護者や教職員のサポートをします。(全校配置ではありません)

オンライン学習

ICTを活用し、授業の様子を別室や自宅で見学します。(4ページ参照)



三次市の相談先・支援内容 (居場所)

三次市こども応援センター

不登校・いじめ・その他教育上の様々な相談を受けたり、SCによるカウンセリングを行います。(必要に応じ、県や市の各機関と連携します)

三次市教育支援ルーム

不登校児童生徒が安心して過ごせる“居場所”です。学習支援や様々な体験活動を通して、児童生徒の社会的自立を育みます。(3ページ参照)



その他の相談先・支援内容 (居場所)

SCHOOL“S” (スクールエス)

広島県教育支援センター(県立教育センター)に設置され、個々の実態や興味・関心等に応じた学びを支援します。(4ページ参照)

フリースクール

民間の支援機関

地域の支援

各中学校区のコミュニティ・スクールや地域の団体が、学校と連携して子どもの居場所づくりへ向けた取組をされているところがあります。
各学校または三次市教育委員会にお問い合わせください。

